

# 第9期 決算公告

( 自 2021年7月1日  
至 2022年6月30日 )

株式会社 WFS

# 貸借対照表

(2022年6月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>9,635,148</b>	<b>流動負債</b>	<b>5,025,714</b>
現金及び預金	6,055,122	未払金	3,251,485
売掛金	3,149,387	未払費用	29,461
未収入金	51,458	未払法人税等	470,072
預け金	283,000	未払消費税	825,934
前払費用	95,989	繰延収益	285,502
立替金	184	預り金	3,637
その他	6	賞与引当金	159,621
<b>固定資産</b>	<b>263,655</b>	<b>固定負債</b>	<b>4,362</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,330</b>	長期未払金	4,362
工具、器具及び備品	2,330	<b>負債合計</b>	<b>5,030,077</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>366</b>	<b>純 資 産 の 部</b>	
ソフトウェア	366	<b>株主資本</b>	<b>4,868,726</b>
<b>投資その他</b>	<b>260,958</b>	<b>資本金</b>	<b>110,000</b>
繰延税金資産	260,958	<b>利益剰余金</b>	<b>4,758,726</b>
		その他利益剰余金	4,758,726
		繰越利益剰余金	4,758,726
		<b>純資産合計</b>	<b>4,868,726</b>
<b>資産合計</b>	<b>9,898,804</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>9,898,804</b>

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を採用しております。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ①有形固定資産

定率法を採用しております。

#### ②無形固定資産

自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。

### (3) 引当金の計上基準

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しています。

### (4) その他計算書類の作成のための基準となる重要な事項

連結納税制度を適用しております。

### (5) 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下の通りであります。

#### イ.顧客に対するアイテム課金に関わる収益

当社が他社プラットフォームにて配信している各種アプリゲームについて、アイテム課金等の方法により運営を行っております。アイテム課金については、顧客であるユーザーが当該アイテム等を用いてゲームを行い、当社がアイテムごとに定められた内容の役務提供を行うことで履行義務が充足されるものと判断しております。そのため、アプリ内アイテムを購入した時点以降のアイテム使用期間を見積もり、当該見積期間に応じて収益を認識しております。

#### ロ.業務受託契約に関わる収益

当社は、ソフトウェア受託開発を行っております。当受託開発による顧客に対する履行義務は、顧客との契約内容に基づいて請負契約は成果物の提供を、委任契約は役務提供をそれぞれ履行義務として識別しております。進捗部分について進捗度を合理的に見積もることができる請負契約については、原価総額の見積額に対する各報告期間の末日までに発生した発生原価の割合によって算出した進捗度に基づき収益を認識しております。なお、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができないが、発生する費用を回収することが見込まれる場合は、原価回収基準より収益を認識しております。委任契約については、契約期間に対する役務提供の経過期間に応じて収益を認識しております。

## 2. 当期純損益金額

当期純利益 4,420,762千円